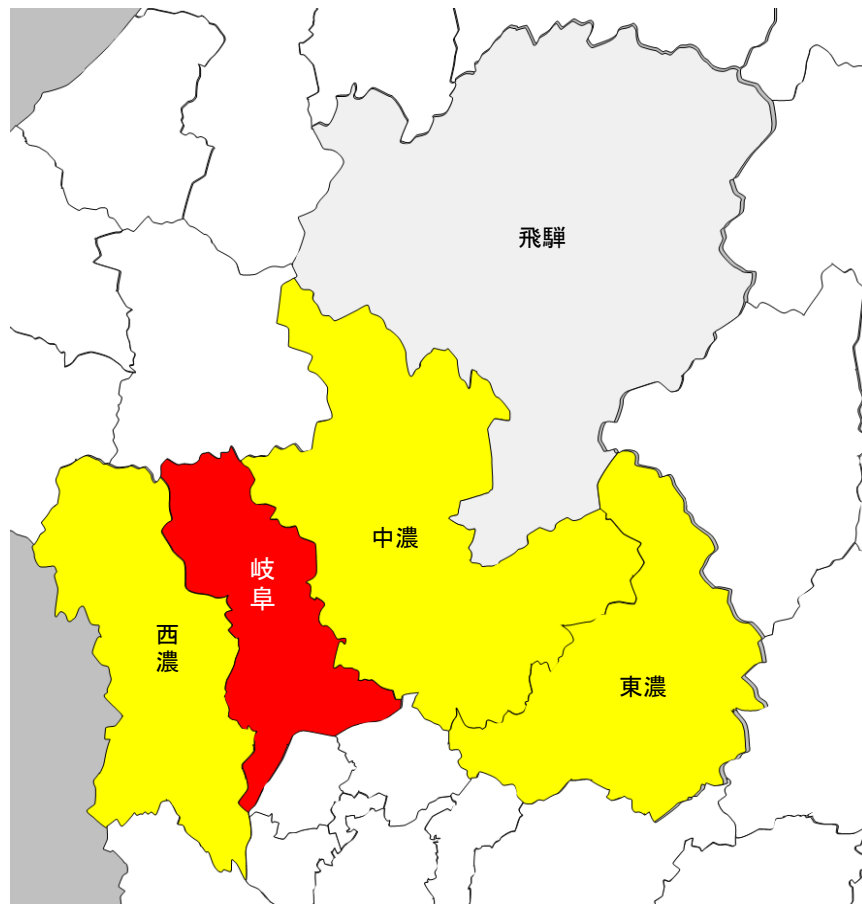


21. 岐阜県

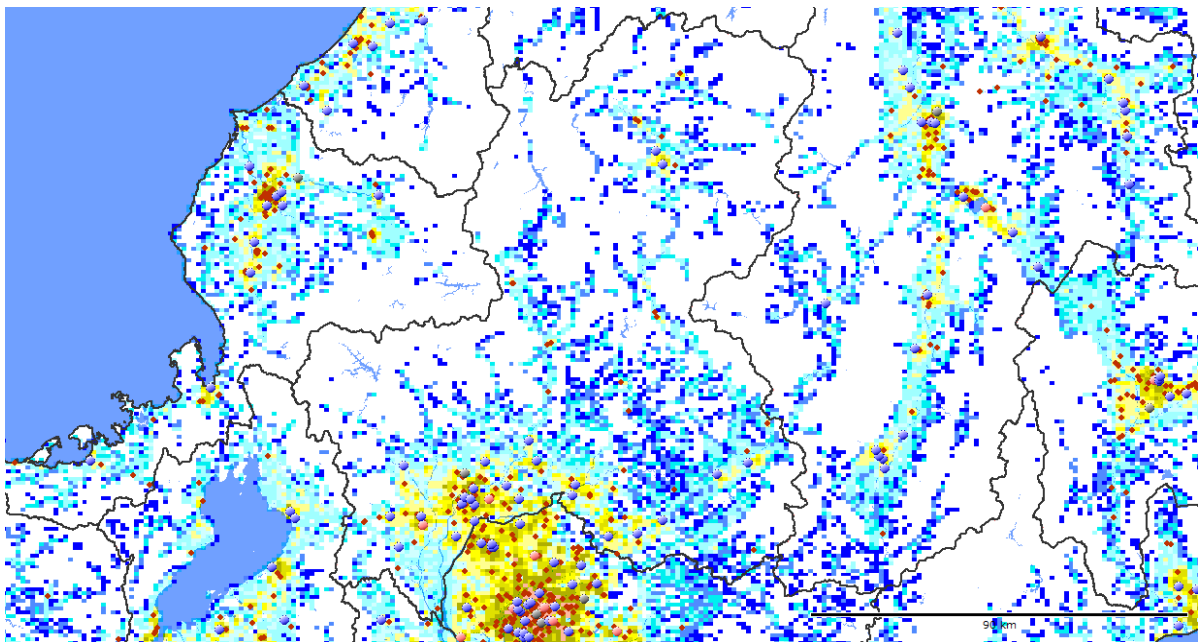


目次

岐阜県	21	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	21	-	8
1. 岐阜医療圏	21	-	20
2. 西濃医療圏	21	-	25
3. 中濃医療圏	21	-	30
4. 東濃医療圏	21	-	35
5. 飛騨医療圏	21	-	40

21. 岐阜県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（岐阜県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岐阜県は、総人口約2035千人（2015年推計）、面積10621km²、人口密度は192人/km²である。

***人口の将来予測：** 岐阜県の総人口は2025年に1908千人へと減少し（2015年比－6%）、2040年に1660千人へと減少する（2025年比－13%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の278千人が、2025年にかけて359千人へと増加し（2015年比＋29%）、2040年には350千人へと減少する（2025年比－3%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岐阜県の一人当たり医療費（国保）は319千円（偏差値50）、介護給付費は244千円（偏差値47）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岐阜県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.64で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46（病院医師数45、診療所医師数48）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岐阜県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、25450人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が17246床（偏差値52）、高齢者住宅等が8204床（偏差値43）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、21384人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム41、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、2571人（75歳以上1000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は－25%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

岐阜県の総人口は、2005年2107226人が、2015年に2035473人と3%減少し、2025年の人口が1907818人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

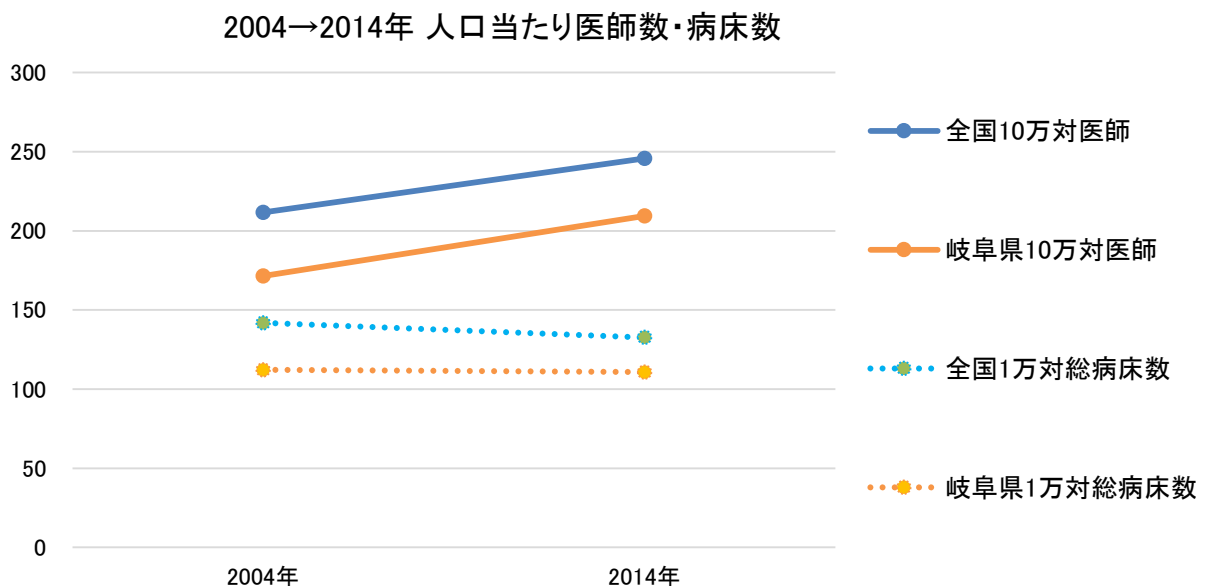
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が112(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に102(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が1467(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に1579(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値49)と、112診療所が増加した。

2004年の総病床数が23642床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に22533床(人口1万人当たり111(全国平均133)偏差値46)と、1109床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

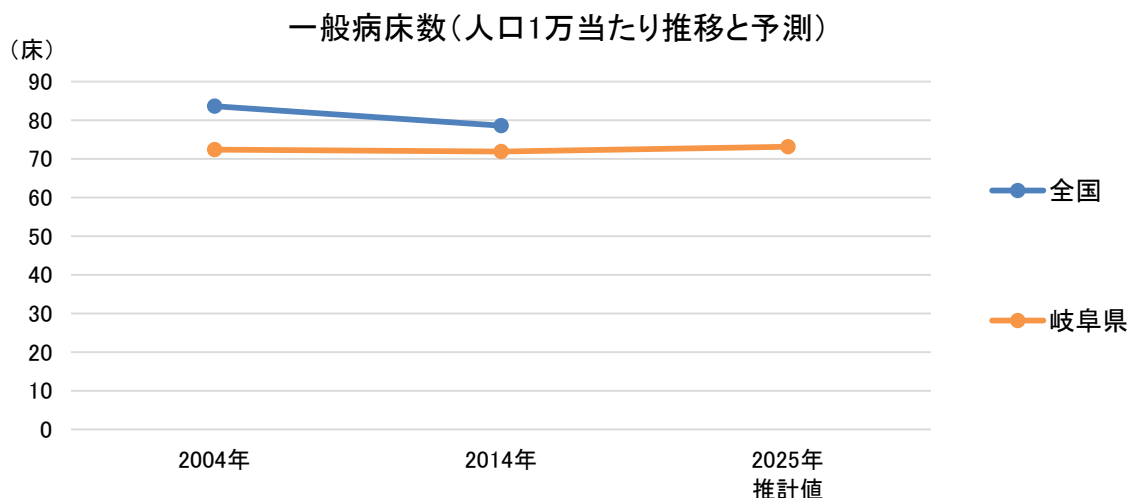
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が3614人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に4262人(人口10万人当たり209人(全国平均246人)偏差値46)と、648人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



21. 岐阜県（2016年版）

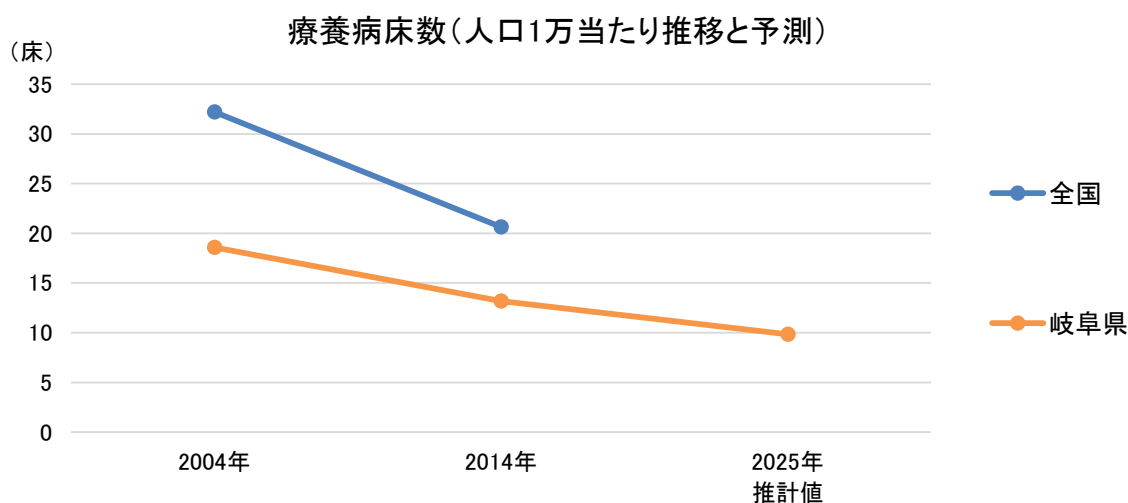
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15264床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に14639床(人口1万人当たり72(全国平均79)偏差値48)と、625床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には13951床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



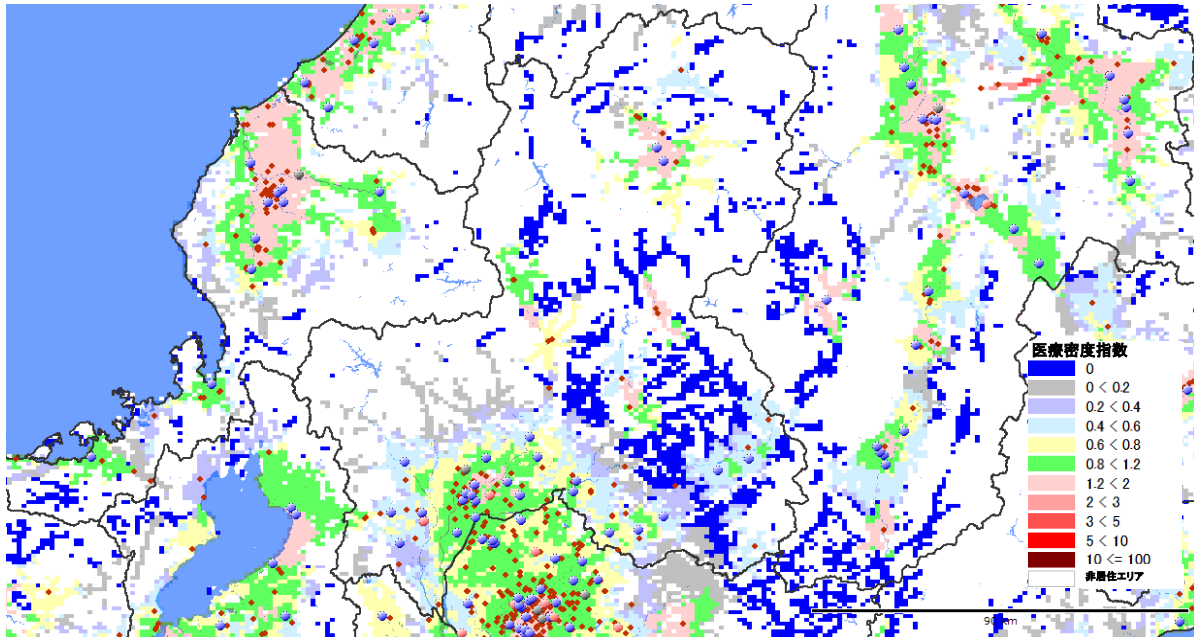
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3778床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に3661床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値44)と、117床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3534床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

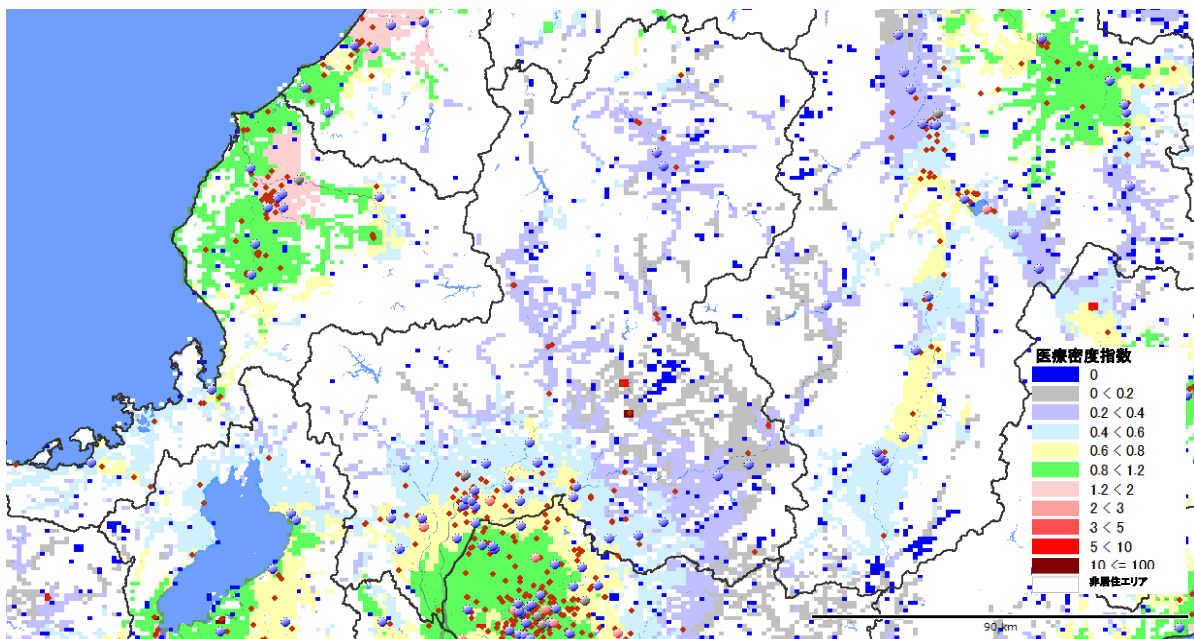


3. 医療密度⁵

図表21-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2 慢性期医療密度指数マップ



21. 岐阜県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 21-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
岐阜県	2,035	17位	10,621	7位	191.6		28%	1,908	1,660	278	359	350	-6%	-13%	29%	-3%
岐阜	800	39%	993	9%	806.5	地方都市型	26%	766	685	98	132	128	-4%	-11%	35%	-3%
西濃	375	18%	1,433	13%	261.7	地方都市型	27%	350	303	49	64	63	-7%	-13%	31%	-2%
中濃	374	18%	2,455	23%	152.5	地方都市型	28%	352	308	53	68	69	-6%	-13%	28%	1%
東濃	336	17%	1,563	15%	214.8	地方都市型	30%	307	256	51	64	62	-9%	-17%	25%	-3%
飛騨	150	7%	4,178	39%	35.8	過疎地域型	34%	133	108	27	32	28	-11%	-19%	19%	-13%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 21-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
岐阜県	0.74	0.64	-27.7%	-24.6%
岐阜	0.96	0.69	-37.0%	-32.6%
西濃	0.53	0.52	-20.0%	-18.0%
中濃	0.60	0.55	-37.6%	-40.6%
東濃	0.52	0.66	-29.8%	-26.2%
飛騨	1.00	3.49	-28.9%	-16.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 21-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
岐阜県	319	50	0.943	244	47
岐阜	320	50	1.010	235	45
西濃	319	50	0.973	254	50
中濃	310	48	0.956	232	44
東濃	324	51	0.956	251	49
飛騨	321	51	0.944	270	54
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 21-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
岐阜県	102	1.2%	5.0	46	1,579	1.6%	78	49
岐阜	42	41%	5.2	46	681	43%	85	53
西濃	17	17%	4.5	45	260	16%	69	45
中濃	18	18%	4.8	45	258	16%	69	45
東濃	15	15%	4.5	45	245	16%	73	47
飛騨	10	10%	6.7	50	135	9%	90	56
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 21-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
岐阜県	1,579	1.6%	78	49	1,425	1.5%	70	49	154	1.8%	7.6	51
岐阜	681	43%	85	53	604	42%	75	51	77	50%	9.6	55
西濃	260	16%	69	45	230	16%	61	44	30	19%	8.0	52
中濃	258	16%	69	45	237	17%	63	45	21	14%	5.6	49
東濃	245	16%	73	47	228	16%	68	47	17	11%	5.1	48
飛騨	135	9%	90	56	126	9%	84	56	9	6%	6.0	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

21. 岐阜県（2016年版）

資_図表 21-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
岐阜県	20,727	1.3%	1,018	46	1,806	1.6%	89	50	22,533	1.3%	1,107	46
岐阜	8,706	42%	1,088	47	865	48%	108	52	9,571	42%	1,196	48
西濃	3,798	18%	1,012	46	361	20%	96	51	4,159	18%	1,109	46
中濃	3,207	15%	857	42	229	13%	61	47	3,436	15%	918	43
東濃	3,196	15%	952	44	241	13%	72	48	3,437	15%	1,024	45
飛騨	1,820	9%	1,216	50	110	6%	73	49	1,930	9%	1,289	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 21-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
岐阜県	13,105	1.5%	644	47	3,389	1.0%	166	46	4,066	1.2%	200	47
岐阜	5,934	45%	741	52	1,444	43%	180	46	1,258	31%	157	45
西濃	1,966	15%	524	42	780	23%	208	48	1,006	25%	268	50
中濃	1,945	15%	519	42	547	16%	146	45	705	17%	188	46
東濃	2,143	16%	638	47	381	11%	114	43	643	16%	192	47
飛騨	1,117	9%	746	52	237	7%	158	45	454	11%	303	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 21-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
岐阜県	753	1.1%	37	46	1,038	2.9%	51	53
岐阜	422	56%	53	49	340	33%	42	52
西濃	99	13%	26	44	207	20%	55	54
中濃	71	9%	19	42	209	20%	56	54
東濃	90	12%	27	44	134	13%	40	51
飛騨	71	9%	47	48	148	14%	99	63
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 21-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
岐阜県	9,789	8,367	578	10,323	4,413	2,577	65.5%	55	18.3%	54
岐阜	4,113	3,342	60	4,423	2,511	1,341	57.1%	52	4.3%	48
西濃	1,613	1,338	229	2,115	594	515	69.3%	57	30.8%	59
中濃	1,042	982	50	2,120	1,003	412	49.5%	49	10.8%	51
東濃	1,805	1,627	113	1,121	270	254	85.8%	64	30.8%	59
飛騨	1,216	1,078	126	544	35	55	96.9%	68	69.6%	76
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 21-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
岐阜県	30,504	1.1%	1,499	43	17,940	1.8%	881	53
岐阜	16,284	53%	2,034	48	8,040	45%	1,004	57
西濃	5,136	17%	1,369	42	3,108	17%	828	51
中濃	3,696	12%	987	38	2,772	15%	740	48
東濃	3,792	12%	1,130	40	2,964	17%	883	53
飛騨	1,596	5%	1,066	39	1,056	6%	705	46
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 21-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
岐阜県	4,718	1.4%	232	46	2,738	1.3%	134	45	1,981	1.5%	97	48
岐阜	2,303	49%	288	52	1,405	51%	176	51	898	45%	112	53
西濃	699	15%	186	41	387	14%	103	41	312	16%	83	44
中濃	690	15%	184	41	379	14%	101	40	311	16%	83	44
東濃	709	15%	211	44	401	15%	120	43	308	16%	92	46
飛騨	317	7%	211	44	165	6%	110	42	152	8%	101	49
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

21. 岐阜県 (2016年版)

資_図表 21-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
岐阜県	220	1.4%	10.8	48	182	1.5%	8.9	48	141	1.4%	6.9	47
岐阜	144	65%	18.0	58	110	60%	13.7	58	79	56%	9.9	54
西濃	24	11%	6.4	41	21	12%	5.6	41	20	14%	5.3	42
中濃	21	10%	5.6	40	17	9%	4.5	38	17	12%	4.5	40
東濃	19	9%	5.7	40	24	13%	7.1	44	17	12%	5.1	42
飛騨	12	5%	8.0	44	10	5%	6.7	43	8	6%	5.3	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
岐阜県	84	1.6%	4.1	50	136	1.4%	6.7	48	117	1.6%	5.7	49
岐阜	48	57%	6.0	59	74	54%	9.2	56	69	59%	8.6	60
西濃	10	12%	2.7	43	21	15%	5.6	44	14	12%	3.7	42
中濃	9	11%	2.4	42	15	11%	4.0	39	13	11%	3.5	41
東濃	11	13%	3.3	46	19	14%	5.7	45	16	14%	4.8	46
飛騨	6	7%	4.0	49	7	5%	4.7	41	5	4%	3.3	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総計	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
岐阜県	96	1.2%	4.7	45	266	1.3%	13.1	46	219	1.4%	10.8	47
岐阜	48	50%	6.0	48	127	48%	15.9	50	111	51%	13.9	54
西濃	13	14%	3.5	41	42	16%	11.2	43	34	16%	9.1	43
中濃	7	7%	1.9	37	43	16%	11.5	44	33	15%	8.8	43
東濃	17	18%	5.1	46	34	13%	10.1	42	28	13%	8.3	42
飛騨	11	11%	7.3	52	20	8%	13.4	46	13	6%	8.7	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
岐阜県	79	1.4%	3.9	47	96	1.5%	4.7	49	45	0.8%	2.2	43
岐阜	44	56%	5.5	55	51	53%	6.4	56	34	76%	4.2	50
西濃	9	11%	2.4	40	7	7%	1.9	37	1	2%	0.3	37
中濃	11	14%	2.9	42	16	17%	4.3	47	6	13%	1.6	41
東濃	11	14%	3.3	44	12	13%	3.6	44	4	9%	1.2	40
飛騨	4	5%	2.7	41	10	10%	6.7	57	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
岐阜県	73	1.1%	3.6	45	25	1.6%	1.2	50	51	1.5%	2.5	49
岐阜	54	74%	6.7	55	15	60%	1.9	57	30	59%	3.7	57
西濃	5	7%	1.3	38	1	4%	0.3	40	3	6%	0.8	40
中濃	5	7%	1.3	38	3	12%	0.8	46	11	22%	2.9	52
東濃	8	11%	2.4	41	5	20%	1.5	53	5	10%	1.5	44
飛騨	1	1%	0.7	35	1	4%	0.7	44	2	4%	1.3	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 21-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
岐阜県	14	0.7%	0.7	43	28	1.2%	1.4	46
岐阜	8	57%	1.0	45	14	50%	1.7	49
西濃	4	29%	1.1	46	8	29%	2.1	52
中濃	1	7%	0.3	39	3	11%	0.8	42
東濃	1	7%	0.3	40	2	7%	0.6	40
飛騨	0	0%	0	37	1	4%	0.7	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

21. 岐阜県（2016年版）

資_図表 21-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
岐阜県	15,936	1.4%	783	47	12,460	1.4%	612	46	3,476	1.8%	171	52
岐阜	7,154	45%	894	51	5,466	44%	683	49	1,688	49%	211	57
西濃	2,513	16%	670	43	2,022	16%	539	43	491	14%	131	47
中濃	2,420	15%	646	42	1,924	15%	514	42	497	14%	133	47
東濃	2,484	16%	740	46	1,932	16%	575	44	552	16%	164	51
飛騨	1,365	9%	912	51	1,117	9%	746	51	248	7%	166	51
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 21-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
岐阜県	1,415	1.2%	70	45	3,811	1.3%	187	46
岐阜	708	50%	88	49	1,983	52%	248	52
西濃	191	13%	51	42	530	14%	141	41
中濃	241	17%	64	44	487	13%	130	40
東濃	180	13%	54	42	567	15%	169	44
飛騨	95	7%	64	44	244	6%	163	43
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 21-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
岐阜県	262	1.8%	0.9	51	17	1.5%	0.1	49	165	1.7%	0.6	51
岐阜	132	50%	1.4	60	9	53%	0.1	54	69	42%	0.7	57
西濃	39	15%	0.8	48	1	6%	0.0	43	23	14%	0.5	44
中濃	46	18%	0.9	50	4	24%	0.1	51	27	16%	0.5	46
東濃	28	11%	0.5	42	2	12%	0.0	45	33	20%	0.6	53
飛騨	17	6%	0.6	44	1	6%	0.0	45	13	8%	0.5	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 21-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	25,450	1.6%	92	45	17,246	1.8%	62	52	8,204	1.3%	30	43
岐阜	9,348	37%	96	48	6,020	35%	62	51	3,328	41%	34	46
西濃	4,619	18%	94	47	3,472	20%	71	59	1,147	14%	23	39
中濃	4,579	18%	87	43	3,215	19%	61	51	1,364	17%	26	41
東濃	4,562	18%	89	44	2,841	16%	55	46	1,721	21%	33	46
飛騨	2,342	9%	86	42	1,698	10%	62	52	644	8%	24	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 21-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	6,696	1.8%	24	54	10,001	1.8%	36	52	549	0.8%	2.0	45
岐阜	2,429	36%	25	55	3,280	33%	34	50	311	57%	3.2	48
西濃	1,229	18%	25	55	2,199	22%	45	61	44	8%	0.9	42
中濃	1,296	19%	25	55	1,894	19%	36	52	25	5%	0.5	41
東濃	1,055	16%	21	47	1,729	17%	34	50	57	10%	1.1	43
飛騨	687	10%	25	55	899	9%	33	49	112	20%	4.1	50
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	1,102	0.5%	4.0	41	373	1.6%	1.3	50	4,083	2.1%	14.7	55
岐阜	334	30%	3.4	40	79	21%	0.8	47	1,652	40%	16.9	59
西濃	115	10%	2.3	39	50	13%	1.0	48	849	21%	17.3	60
中濃	259	24%	4.9	42	30	8%	0.6	46	670	16%	12.7	52
東濃	347	31%	6.7	43	164	44%	3.2	59	699	17%	13.6	54
飛騨	47	4%	1.7	38	50	13%	1.8	52	213	5%	7.8	43
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

21. 岐阜県（2016年版）

資_図表 21-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	2,646	1.2%	9.5	45	65	0.5%	0.2	46	2,581	1.3%	9.3	45
岐阜	1,263	48%	12.9	50	0	0%	0	45	1,263	49%	12.9	51
西濃	133	5%	2.7	35	0	0%	0	45	133	5%	2.7	35
中濃	405	15%	7.7	42	35	54%	0.7	49	370	14%	7.0	42
東濃	511	19%	9.9	46	30	46%	0.6	49	481	19%	9.3	46
飛騨	334	13%	12.2	49	0	0%	0	45	334	13%	12.2	50
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 21-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	2,531	1.6%	9.1	47	1,823	1.5%	6.6	47	707	1.7%	2.5	50
岐阜	933	37%	9.6	49	651	36%	6.7	48	281	40%	2.9	54
西濃	422	17%	8.6	45	320	18%	6.5	47	103	15%	2.1	45
中濃	419	17%	8.0	42	332	18%	6.3	46	87	12%	1.7	39
東濃	462	18%	9.0	47	319	17%	6.2	45	143	20%	2.8	53
飛騨	295	12%	10.8	54	202	11%	7.4	51	92	13%	3.4	60
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岐阜県	23,955	1.6%	86	47	21,384	1.7%	77	50	2,571	1.2%	9.2	42
岐阜	8,639	36%	88	49	7,513	35%	77	50	1,125	44%	11.5	46
西濃	4,646	19%	95	54	4,228	20%	86	59	417	16%	8.5	41
中濃	4,119	17%	78	40	3,743	18%	71	45	376	15%	7.2	38
東濃	4,270	18%	83	44	3,851	18%	75	49	419	16%	8.1	40
飛騨	2,282	10%	83	45	2,048	10%	75	49	234	9%	8.5	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
岐阜県	16,706	1.6%	60	48	6,743	1.6%	24	49	19,221	1.3%	69	43
岐阜	8,391	50%	86	57	2,273	34%	23	48	7,699	40%	79	46
西濃	2,058	12%	42	42	1,183	18%	24	49	2,688	14%	55	38
中濃	2,361	14%	45	43	943	14%	18	43	3,675	19%	70	43
東濃	2,935	18%	57	47	1,510	22%	29	54	3,615	19%	70	43
飛騨	961	6%	35	40	834	12%	30	55	1,544	8%	56	39
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 21-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
岐阜県		2,107,226	2,035,473	-3%	1,907,818	-9%	10%	3%	13%
岐阜	地方都市型	802,218	800,495	0%	765,662	-5%	14%	4%	19%
西濃	地方都市型	391,637	375,177	-4%	350,130	-11%	9%	3%	12%
中濃	地方都市型	388,877	374,404	-4%	352,118	-9%	9%	4%	13%
東濃	地方都市型	358,884	335,671	-6%	306,542	-15%	7%	1%	8%
飛騨	過疎地域型	165,610	149,726	-10%	133,366	-19%	4%	-3%	0%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 21-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
岐阜県	112	5.3	45	102	5.0	46	-10	-9%	92
岐阜	46	5.7	46	42	5.2	46	-4	-9%	38
西濃	17	4.3	43	17	4.5	45	0	0%	17
中濃	22	5.7	46	18	4.8	45	-4	-18%	14
東濃	15	4.2	42	15	4.5	45	0	0%	15
飛騨	12	7.2	50	10	6.7	50	-2	-17%	8
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

21. 岐阜県（2016年版）

資_図表 21-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
岐阜県	1,467	70	47	1,579	78	49	112	8%	1,703
岐阜	622	78	51	681	85	53	59	9%	746
西濃	265	68	46	260	69	45	-5	-2%	255
中濃	217	56	40	258	69	45	41	19%	303
東濃	227	63	44	245	73	47	18	8%	265
飛騨	136	82	53	135	90	56	-1	-1%	134
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 21-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
岐阜県	3,614	172	45	4,262	209	46	648	18%	4,976
岐阜	1,784	222	51	2,212	276	53	428	24%	2,683
西濃	569	145	42	618	165	42	49	9%	672
中濃	486	125	40	565	151	40	79	16%	652
東濃	489	136	41	596	178	43	107	22%	714
飛騨	286	173	45	271	181	43	-15	-5%	255
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 21-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
岐阜県	23,642	112	45	22,533	111	46	-1,109	-5%	21,313
岐阜	10,013	125	47	9,571	120	48	-442	-4%	9,085
西濃	4,152	106	44	4,159	111	46	7	0%	4,167
中濃	3,522	91	41	3,436	92	43	-86	-2%	3,341
東濃	3,577	100	42	3,437	102	45	-140	-4%	3,283
飛騨	2,378	144	50	1,930	129	49	-448	-19%	1,437
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 21-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
岐阜県	15,264	72	46	14,639	72	48	-625	-4%	13,951	73
岐阜	6,697	83	50	6,659	83	52	-38	-1%	6,617	86
西濃	2,529	65	43	2,281	61	43	-248	-10%	2,008	57
中濃	2,277	59	41	2,166	58	42	-111	-5%	2,044	58
東濃	2,337	65	43	2,328	69	47	-9	0%	2,318	76
飛騨	1,424	86	51	1,205	80	51	-219	-15%	964	72
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 21-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
岐阜県	3,778	19	42	3,661	13	44	-117	-3%	3,534	10
岐阜	1,754	26	47	1,584	16	46	-170	-10%	1,397	11
西濃	570	15	41	826	17	47	256	45%	1,108	17
中濃	530	13	39	555	11	41	25	5%	583	9
東濃	482	13	39	437	8	40	-45	-9%	388	6
飛騨	442	21	44	259	9	40	-183	-41%	58	2
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

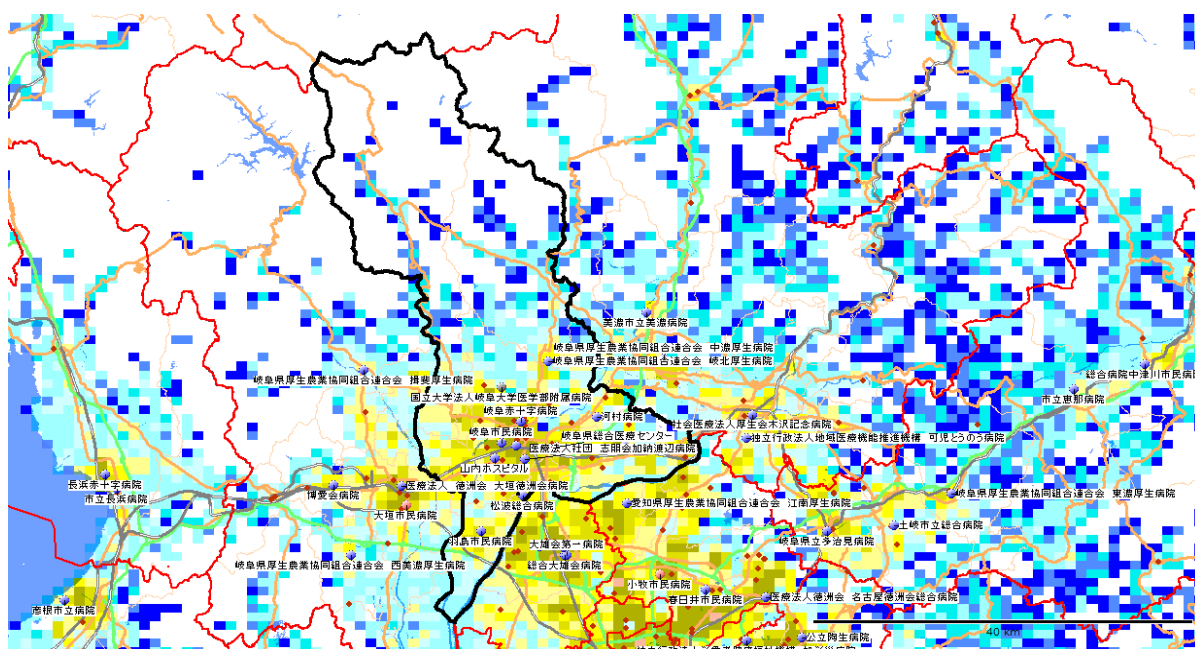
資_図表 21-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
岐阜県	329	50	0.983	119	47	0.925	185	55	1.023
岐阜	328	50	1.011	116	47	0.932	187	56	1.065
西濃	335	52	0.990	122	49	0.940	186	55	1.014
中濃	321	48	0.959	118	47	0.915	179	51	0.990
東濃	333	51	0.956	115	46	0.853	194	60	1.026
飛騨	330	51	0.946	137	54	1.020	171	47	0.906
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

21-1. 岐阜医療圏

構成市区町村¹⁰ [岐阜市](#) [羽島市](#) [各務原市](#) [山県市](#)
[瑞穂市](#) [本巣市](#) [岐南町](#) [笠松町](#)
[北方町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群
一般病院

(岐阜医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 岐阜(岐阜市)は、総人口約800千人(2015年推計)、面積993km²、人口密度は807人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 岐阜の総人口は2025年に766千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に685千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の98千人が、2025年にかけて132千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には128千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 岐阜の一人当たり医療費(国保)は320千円(偏差値50)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 岐阜の一人当たり急性期医療密度指数²は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が52(病院医師数51、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。岐阜には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岐阜大学医学部附属病院(I群・救命)、岐阜県総合医療センター(II群・救命)、1000例以上の松波総合病院(III群)、岐阜市民病院(II群)、500例以上の朝日大学歯学部附属村上記念病院(III群)、岐阜赤十字病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 岐阜の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9348人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が6020床(偏差値51)、高齢者住宅等が3328床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7513人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム40、軽費ホーム47、グループホーム59、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、1125人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-33%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

岐阜医療圏の総人口は、2005年802218人が、2015年に800495人と1%未満減少し、2025年の人口が765662人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

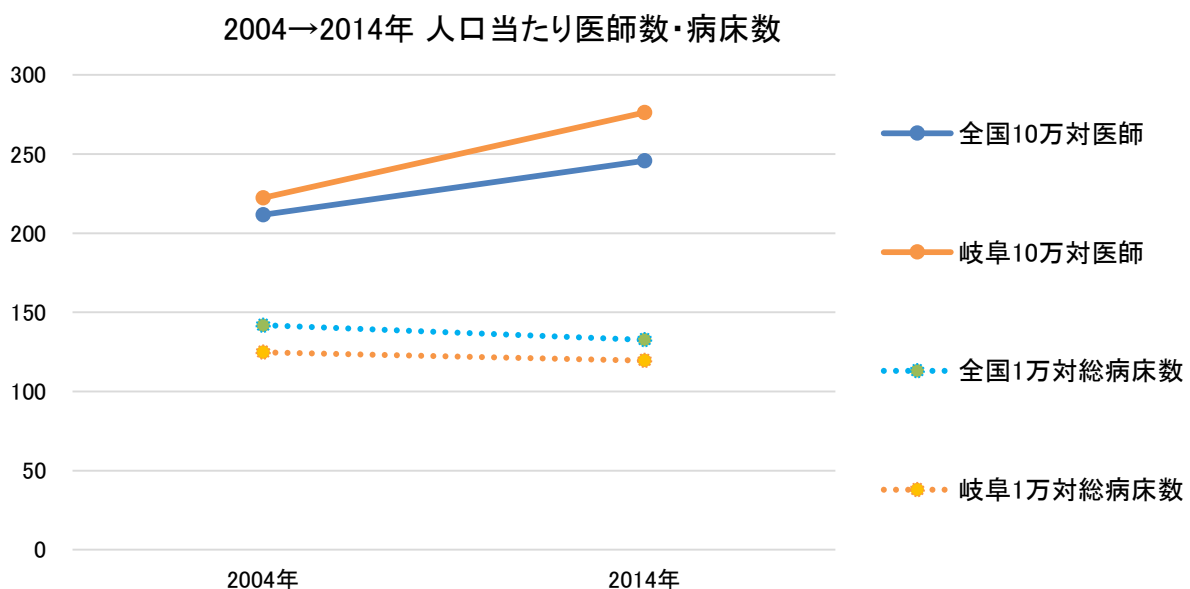
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が46(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に42(人口10万人当たり5.2病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が622(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に681(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、59診療所が増加した。

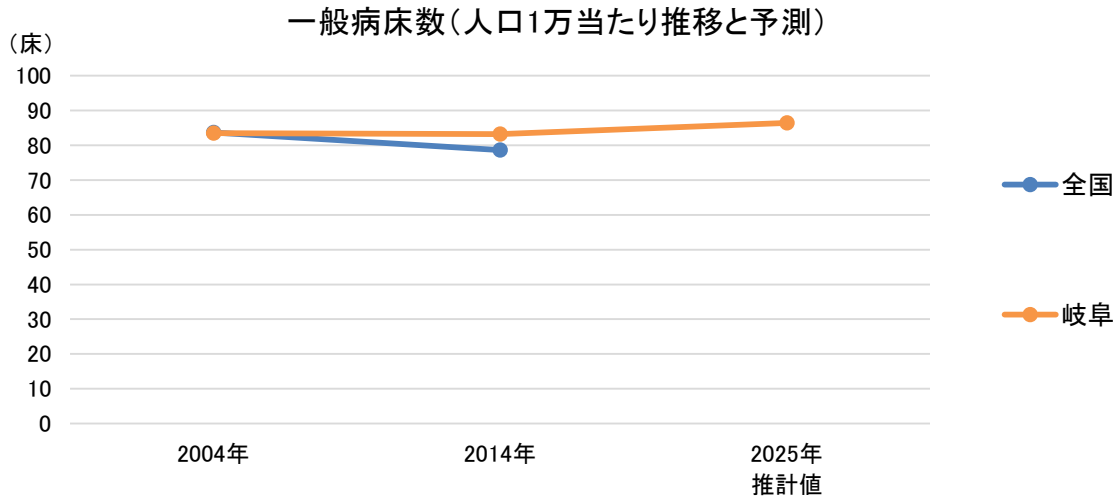
2004年の総病床数が10013床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に9571床(人口1万人当たり120(全国平均133)偏差値48)と、442床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1784人(人口10万人当たり222人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に2212人(人口10万人当たり276人(全国平均246人)偏差値53)と、428人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



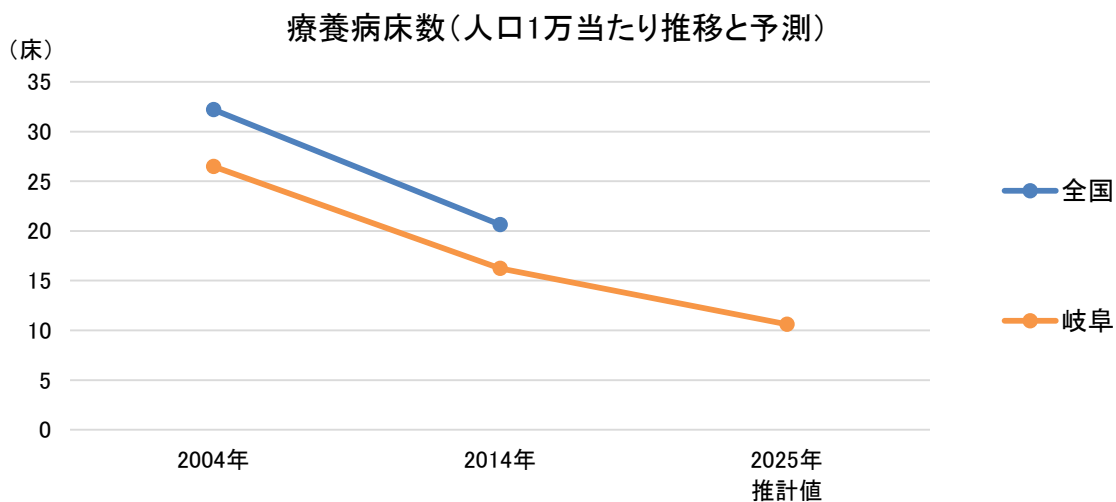
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6697床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に6659床(人口1万人当たり83(全国平均79)偏差値52)と、38床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6617床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



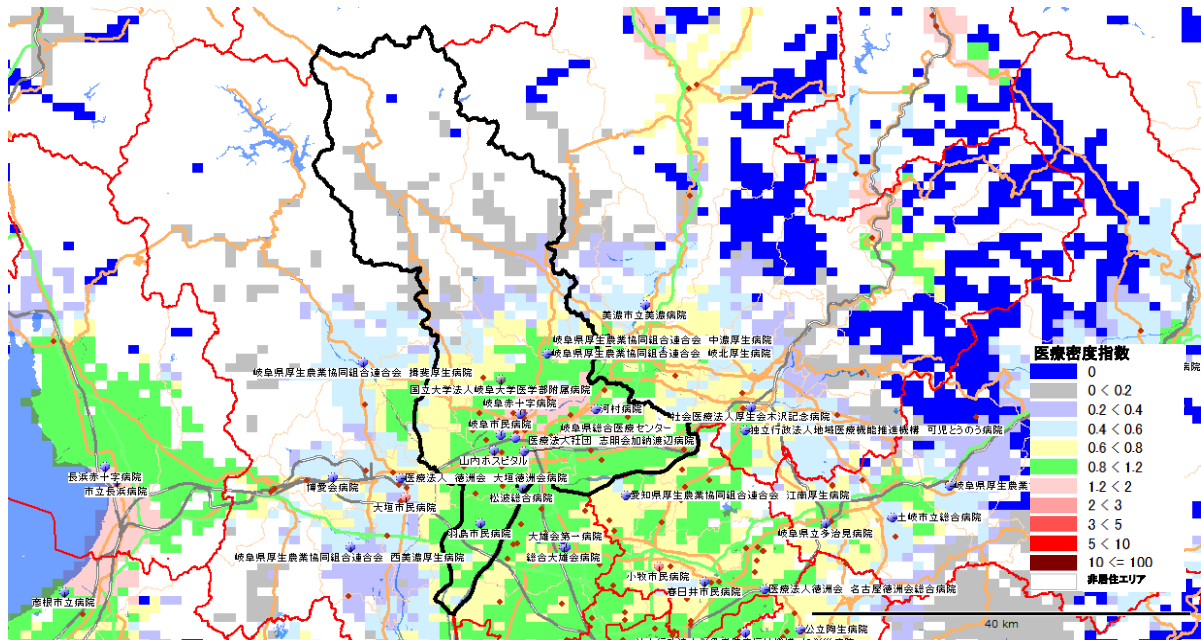
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1754床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に1584床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、170床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1397床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。

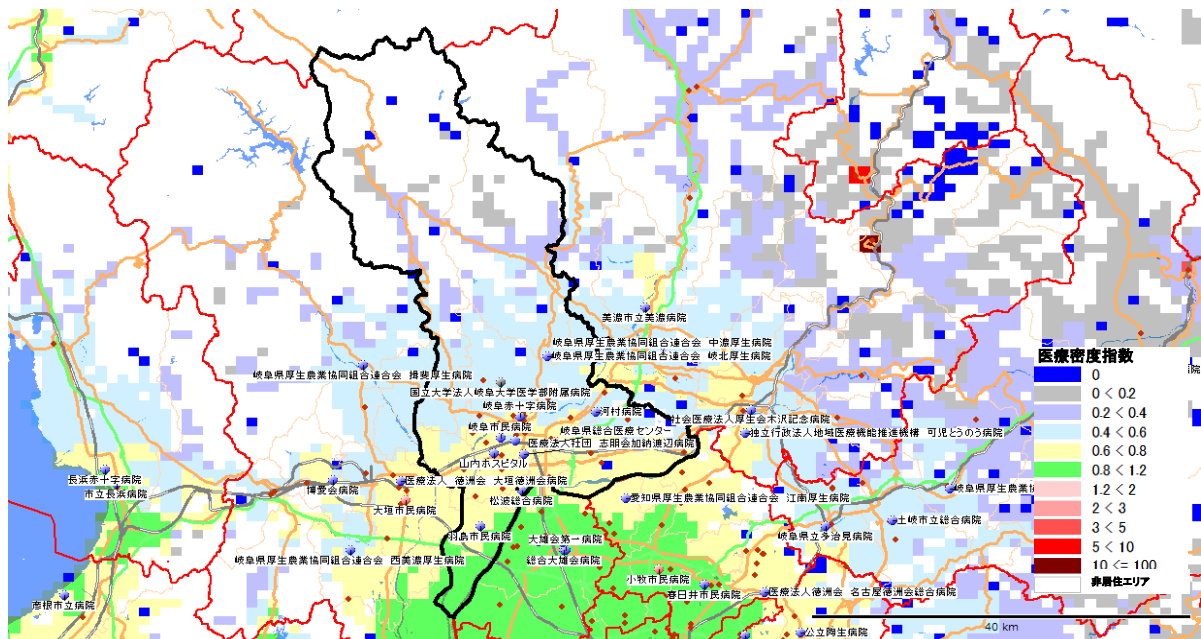


3. 医療密度⁵

図表21-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-1-2 慢性期医療密度指数マップ

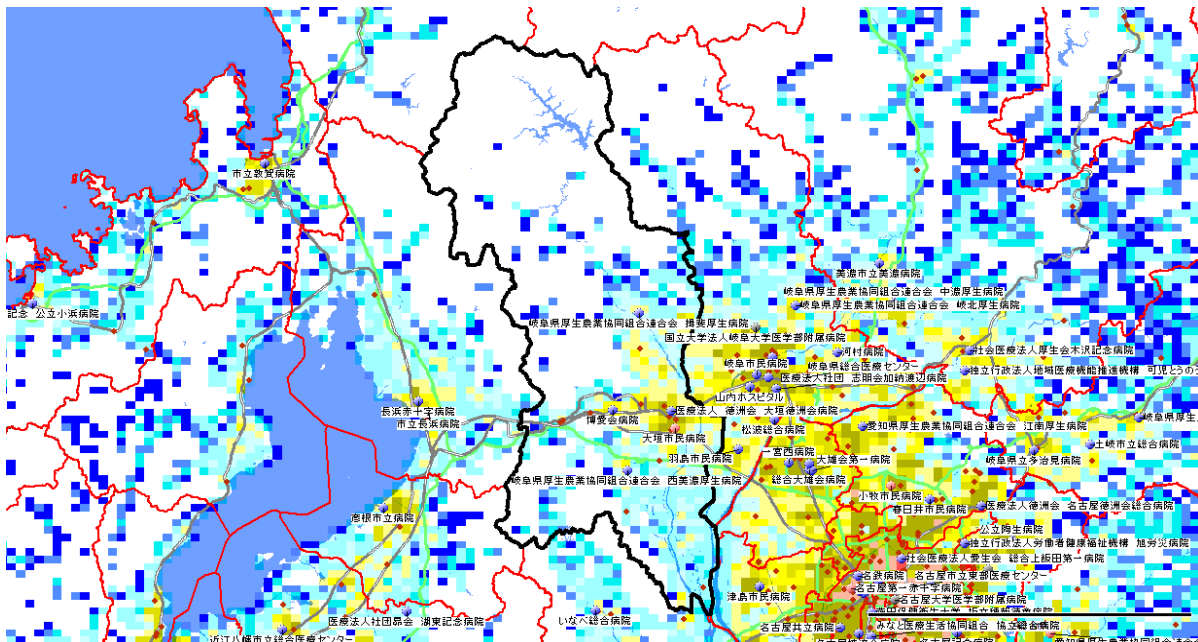


21-2. せいのう 西濃医療圏

構成市区町村¹⁰

大垣市	海津市	養老町	垂井町
関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町
揖斐川町	大野町	池田町	

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（西濃医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

*人口、面積など： 西濃（大垣市）は、総人口約375千人（2015年推計）、面積1433km²、人口密度は262人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西濃の総人口は2025年に350千人へと減少し（2015年比－7%）、2040年に303千人へと減少する（2025年比－13%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の49千人が、2025年にかけて64千人へと増加し（2015年比＋31%）、2040年には63千人へと減少する（2025年比－2%）ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西濃の一人当たり医療費（国保）は319千円（偏差値50）、介護給付費は254千円（偏差値50）であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西濃の一人当たり急性期医療密度指数²は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.52で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41（病院医師数41、診療所医師数44）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。西濃には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大垣市民病院（Ⅲ群・救命）がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西濃の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、4619人（75歳以上1000人当たりの偏差値47）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3472床（偏差値59）、高齢者住宅等が1147床（偏差値39）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、4228人（75歳以上1000人当たりの偏差値59）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム39、軽費ホーム48、グループホーム60、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員（在宅）の合計は、417人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は－18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西濃医療圏の総人口は、2005年391637人が、2015年に375177人と4%減少し、2025年の人口が350130人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

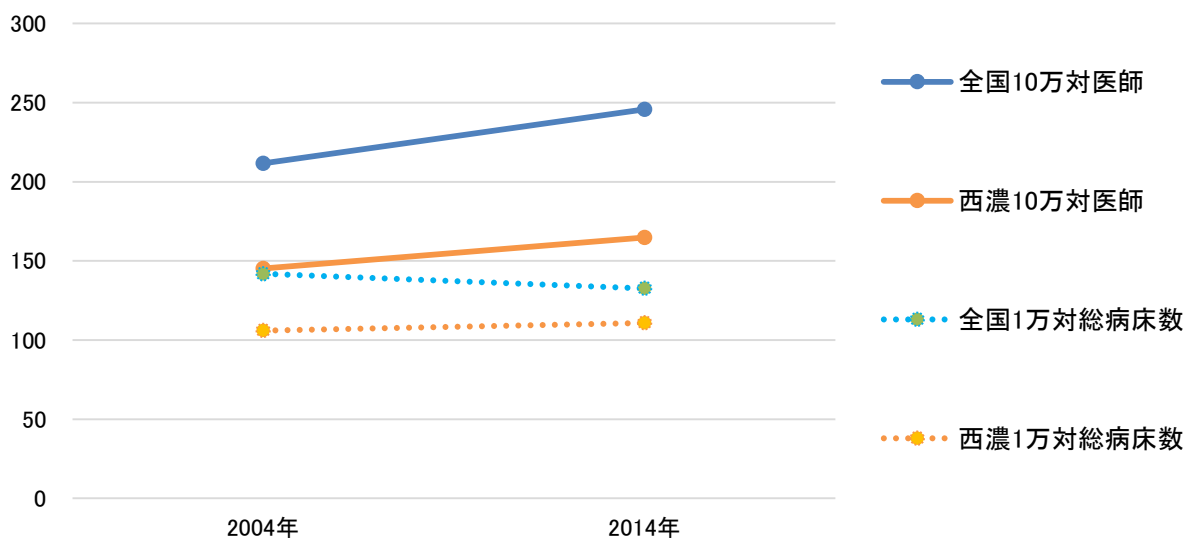
2004年の病院数が17(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に17(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が265(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に260(人口10万人当たり69診療所(全国平均79)偏差値45)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が4152床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に4159床(人口1万人当たり111(全国平均133)偏差値46)と、7床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

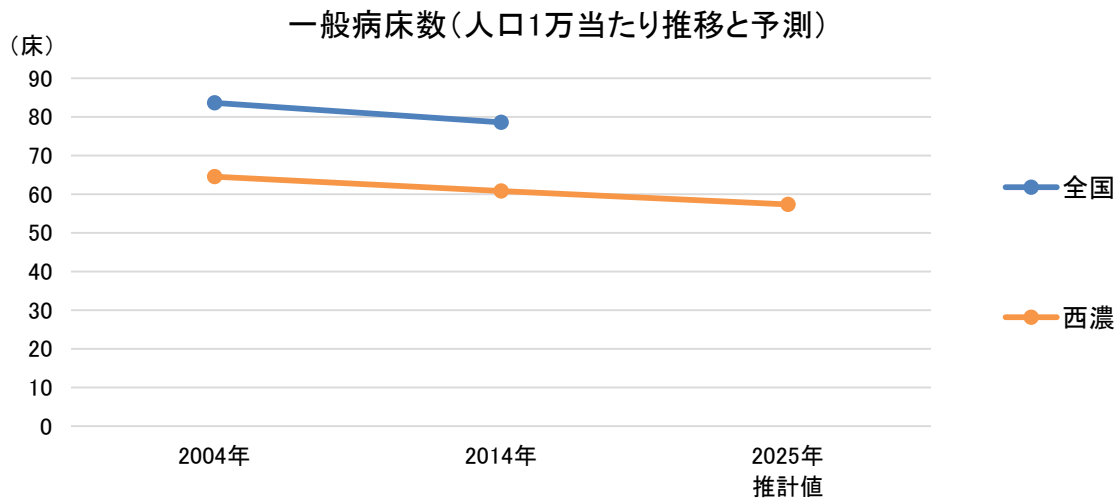
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が569人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に618人(人口10万人当たり165人(全国平均246人)偏差値42)と、49人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



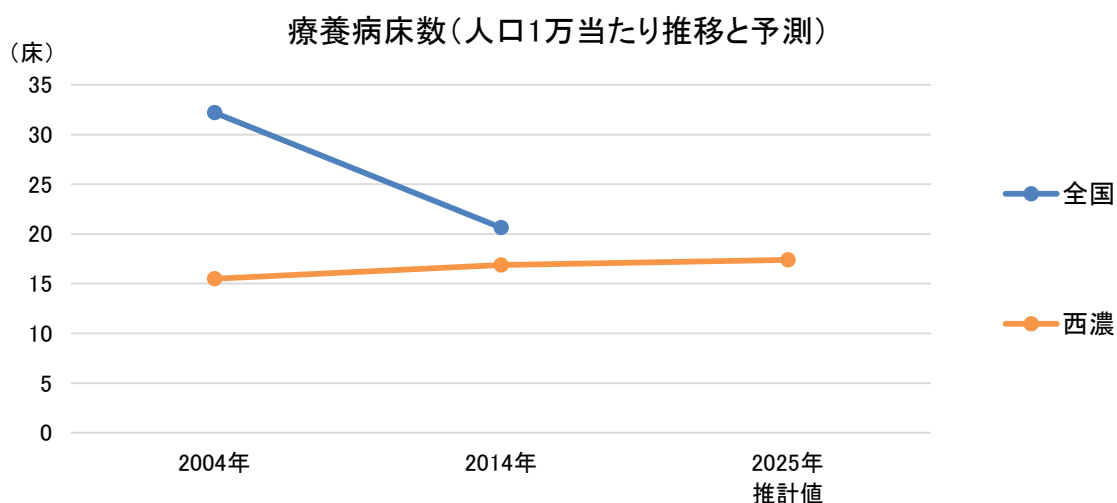
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2529床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2281床(人口1万人当たり61(全国平均79)偏差値43)と、248床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2008床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



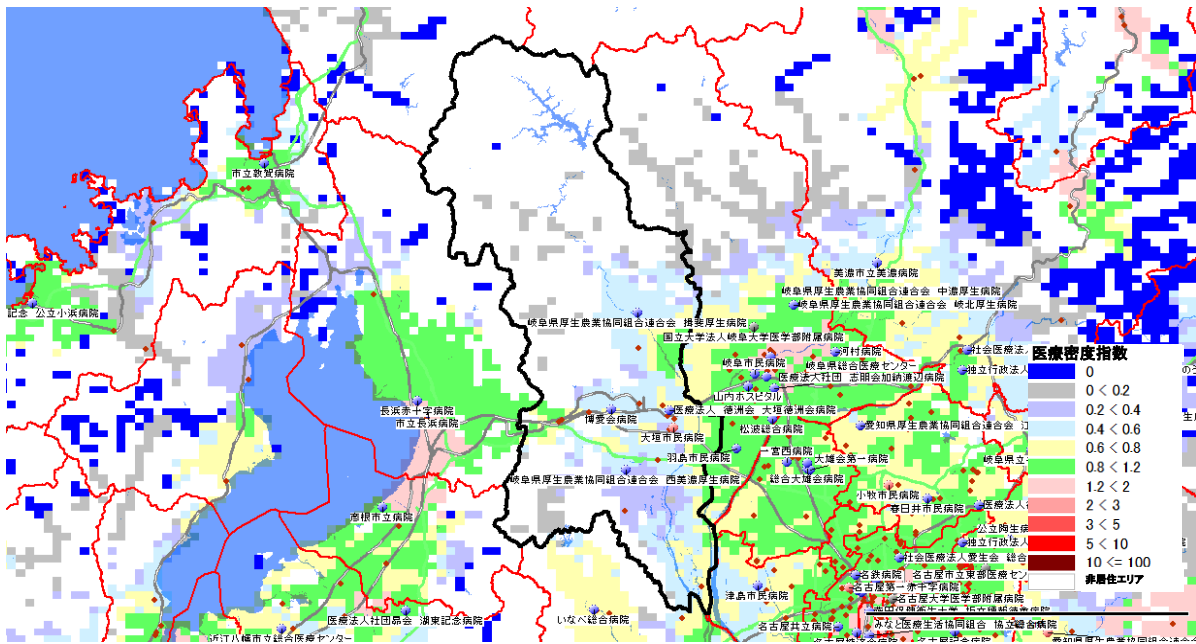
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が570床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に826床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、256床の増加、率にして45%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1108床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。

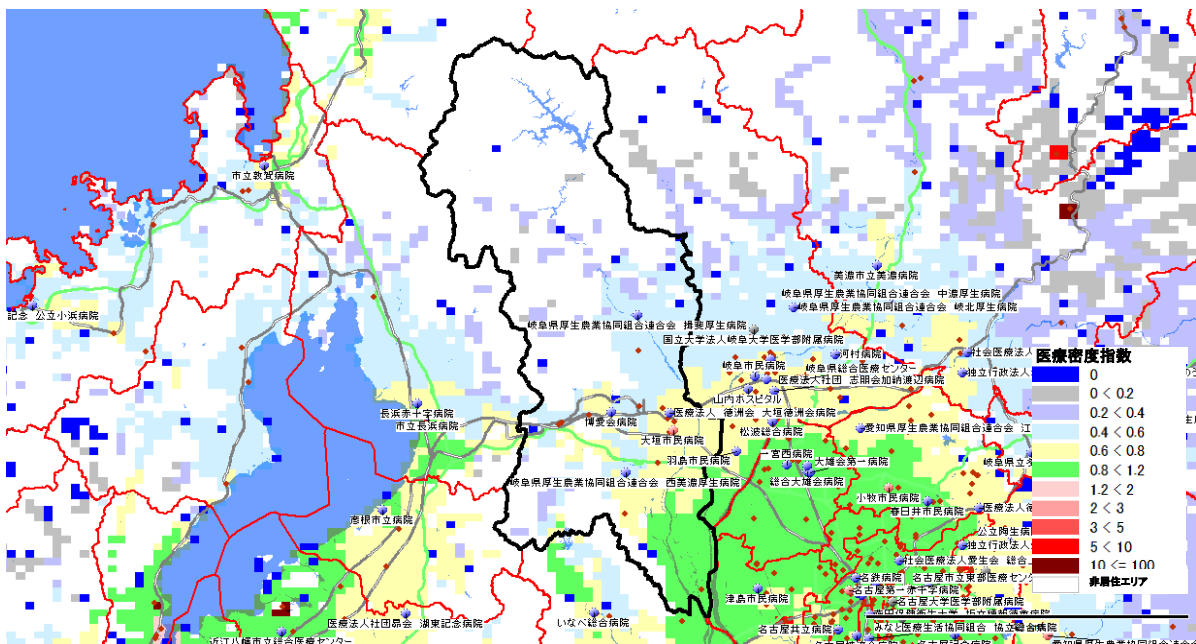


3. 医療密度⁵

図表21-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-2-2 慢性期医療密度指数マップ

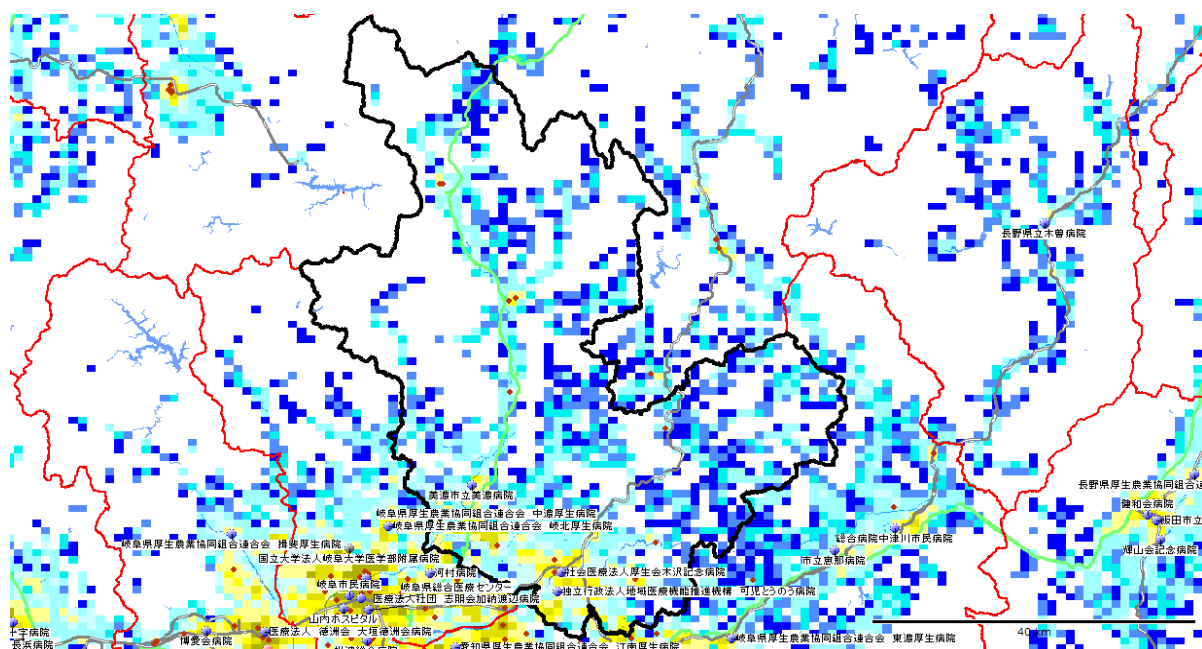


21-3. ちゅうのう 中濃医療圏

構成市区町村¹⁰

関市	美濃市	美濃加茂市	可児市
郡上市	坂祝町	富加町	川辺町
七宗町	八百津町	白川町	東白川村
御嵩町			

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(中濃医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中濃(関市)は、総人口約374千人(2015年推計)、面積2455km²、人口密度は153人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中濃の総人口は2025年に352千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に308千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の53千人が、2025年にかけて68千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には69千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中濃の一人当たり医療費(国保)は310千円(偏差値48)、介護給付費は232千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中濃の一人当たり急性期医療密度指数²は0.6、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.55で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。中濃には、年間全身麻酔件数が500例以上の木沢記念病院(Ⅲ群)、中濃厚生病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4579人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3215床(偏差値51)、高齢者住宅等が1364床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3743人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム42、軽費ホーム46、グループホーム52、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、376人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-41%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中濃医療圏の総人口は、2005年388877人が、2015年に374404人と4%減少し、2025年の人口が352118人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

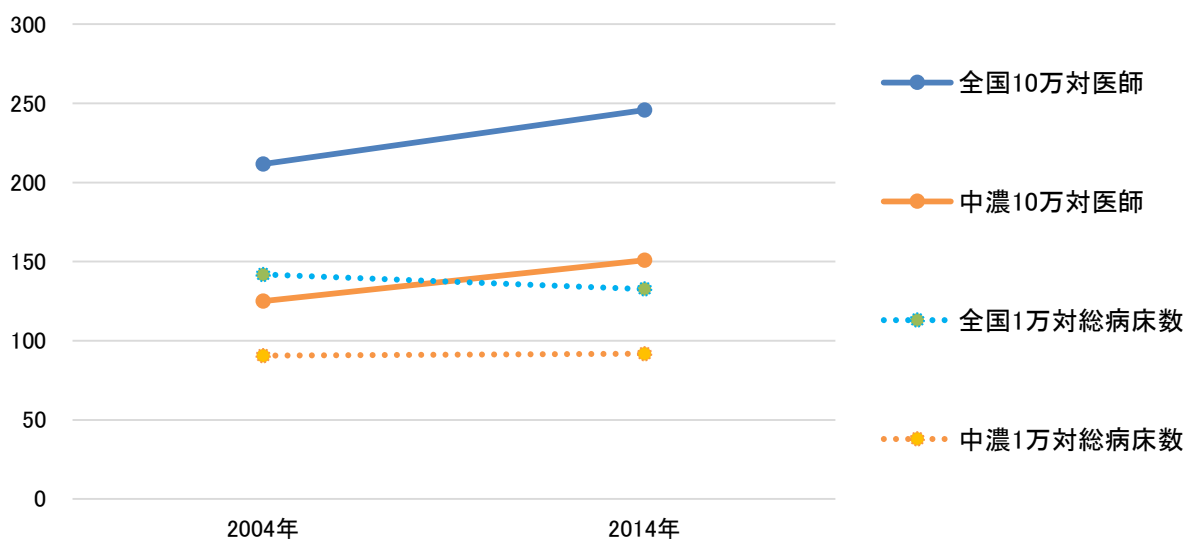
2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に18(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が217(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に258(人口10万人当たり69診療所(全国平均79)偏差値45)と、41診療所が増加した。

2004年の総病床数が3522床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に3436床(人口1万人当たり92(全国平均133)偏差値43)と、86床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

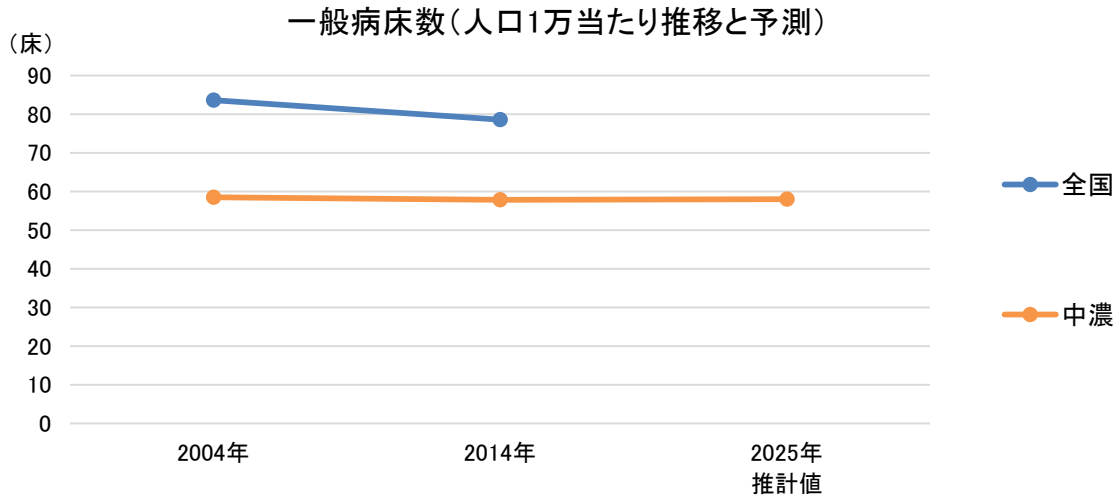
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が486人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に565人(人口10万人当たり151人(全国平均246人)偏差値40)と、79人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



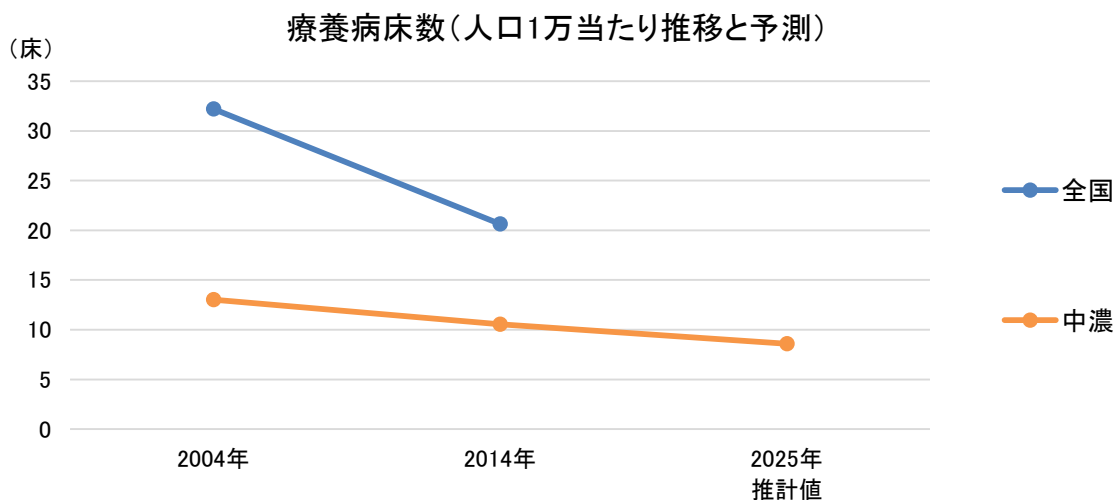
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2277床(人口1万人当たり59(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に2166床(人口1万人当たり58(全国平均79)偏差値42)と、111床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2044床(2025年の推計人口1万人当たり58)になることが予想される。



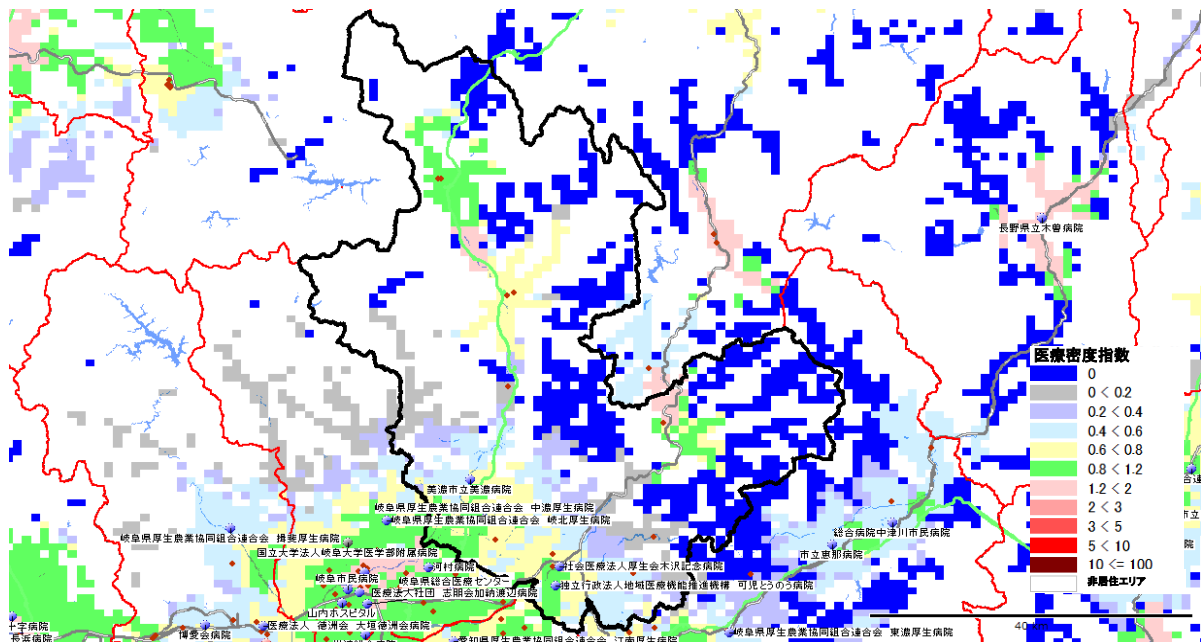
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が530床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に555床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、25床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には583床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。

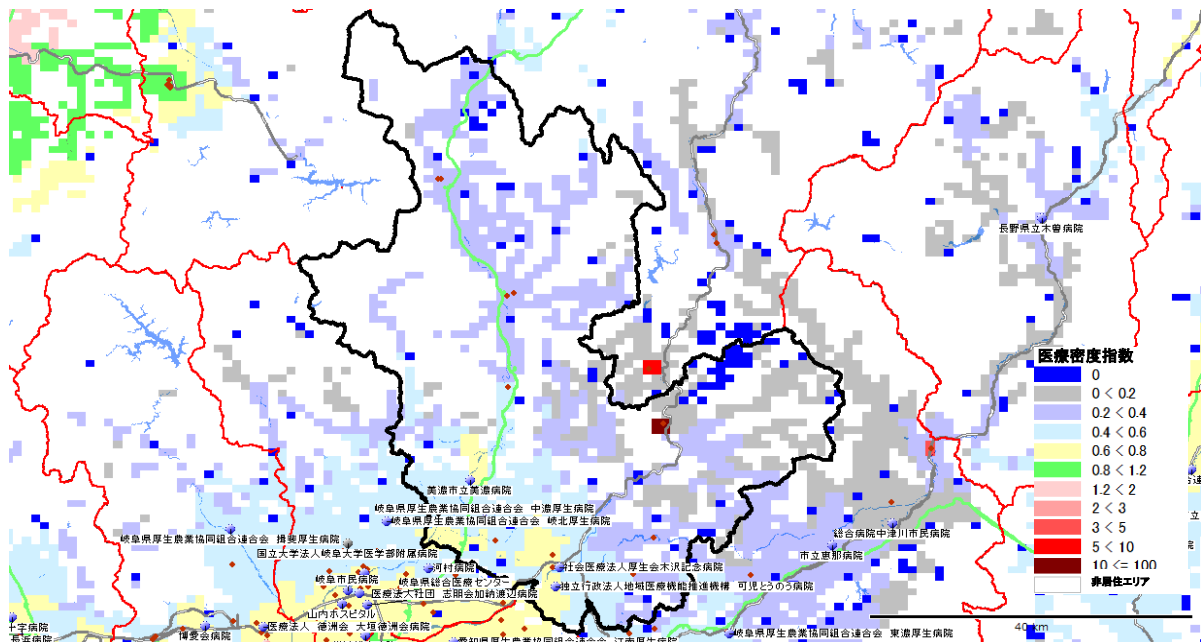


3. 医療密度⁵

図表21-3-1 急性期医療密度指数マップ



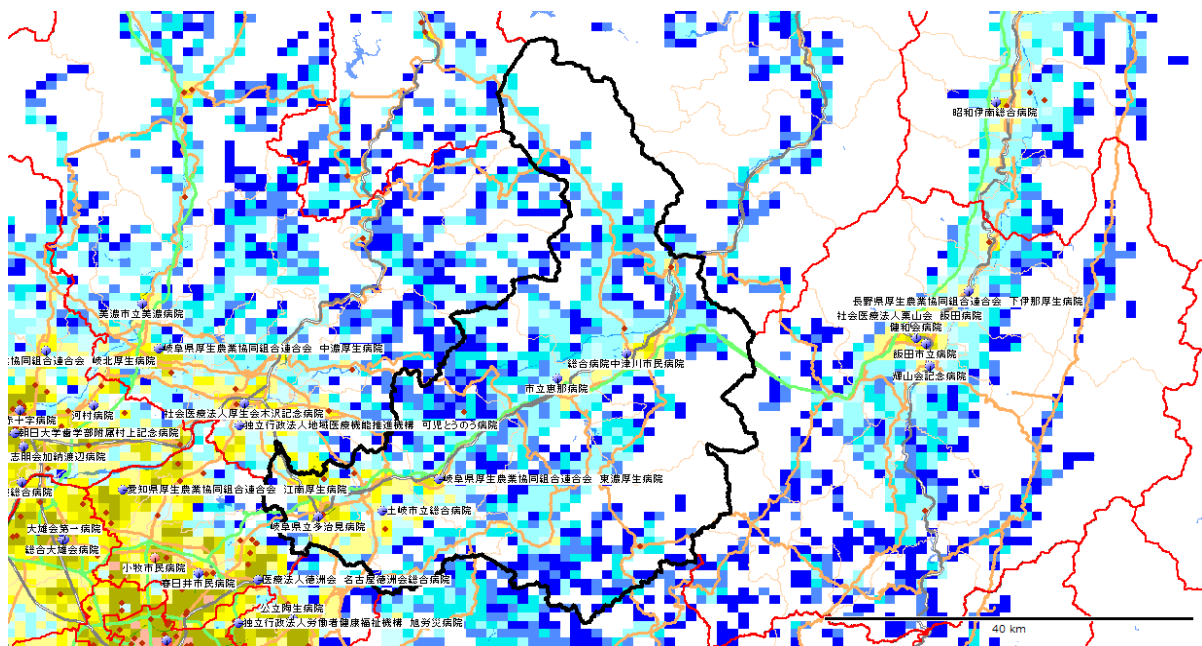
図表21-3-2 慢性期医療密度指数マップ



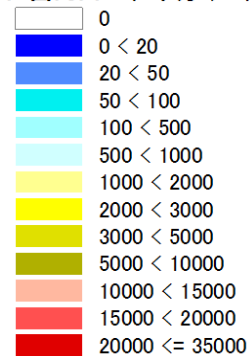
21-4. とうのう 東濃医療圏

構成市区町村¹⁰ [多治見市](#) [中津川市](#) [瑞浪市](#) [恵那市](#)
[土岐市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（東濃医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 東濃(多治見市)は、総人口約336千人(2015年推計)、面積1563km²、人口密度は215人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 東濃の総人口は2025年に307千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に256千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には62千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 東濃の一人当たり医療費(国保)は324千円(偏差値51)、介護給付費は251千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 東濃の一人当たり急性期医療密度指数²は0.52、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。東濃には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岐阜県立多治見病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の中津川市民病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 東濃の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4562人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2841床(偏差値46)、高齢者住宅等が1721床(偏差値46)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3851人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム43、軽費ホーム59、グループホーム54、サ高住46である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、419人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-26%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東濃医療圏の総人口は、2005年358884人が、2015年に335671人と6%減少し、2025年の人口が306542人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

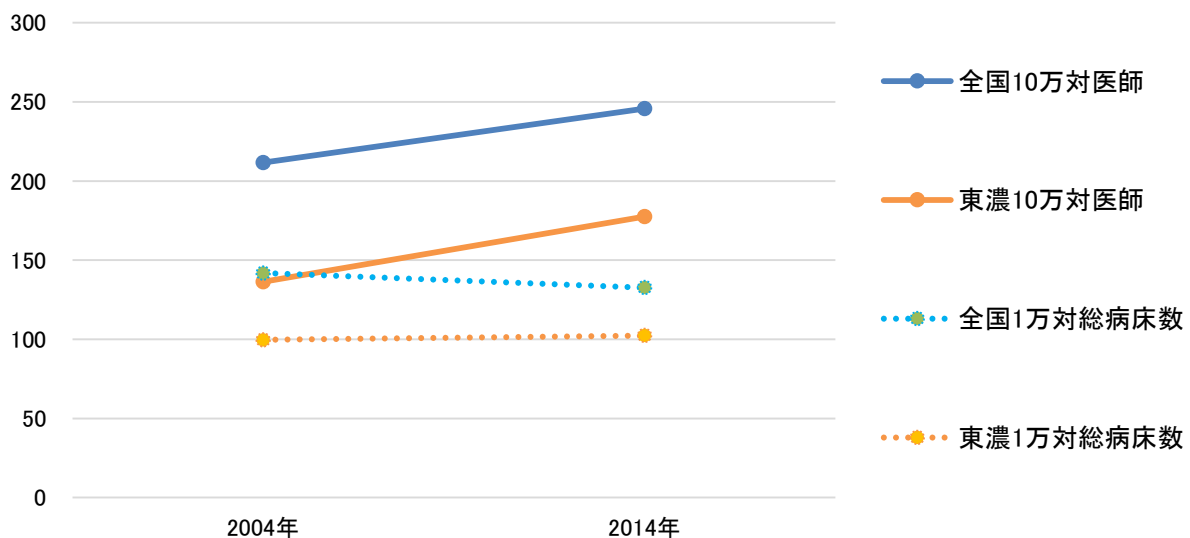
2004年の病院数が15(人口10万人当たり4.2病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に15(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が227(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に245(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、18診療所が増加した。

2004年の総病床数が3577床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に3437床(人口1万人当たり102(全国平均133)偏差値45)と、140床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

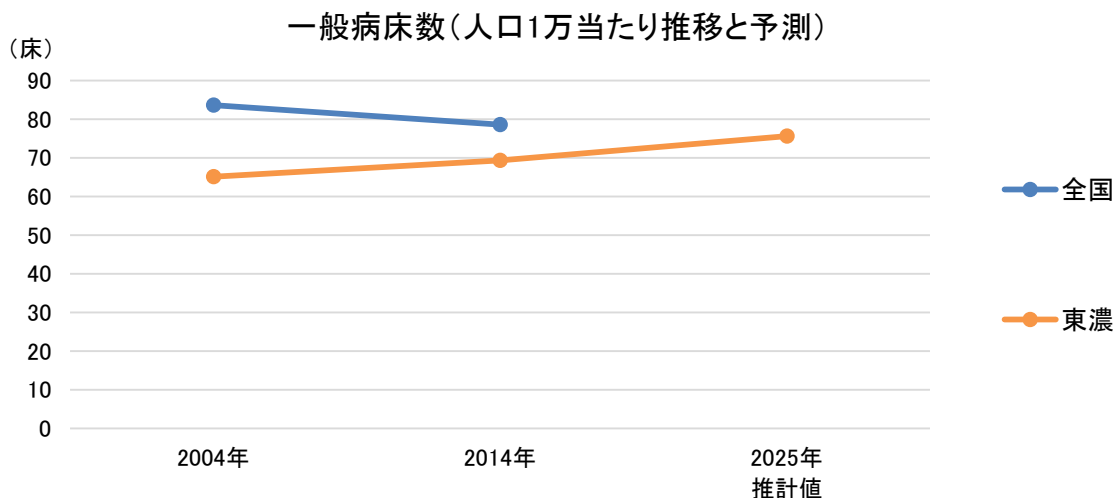
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が489人(人口10万人当たり136人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に596人(人口10万人当たり178人(全国平均246人)偏差値43)と、107人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



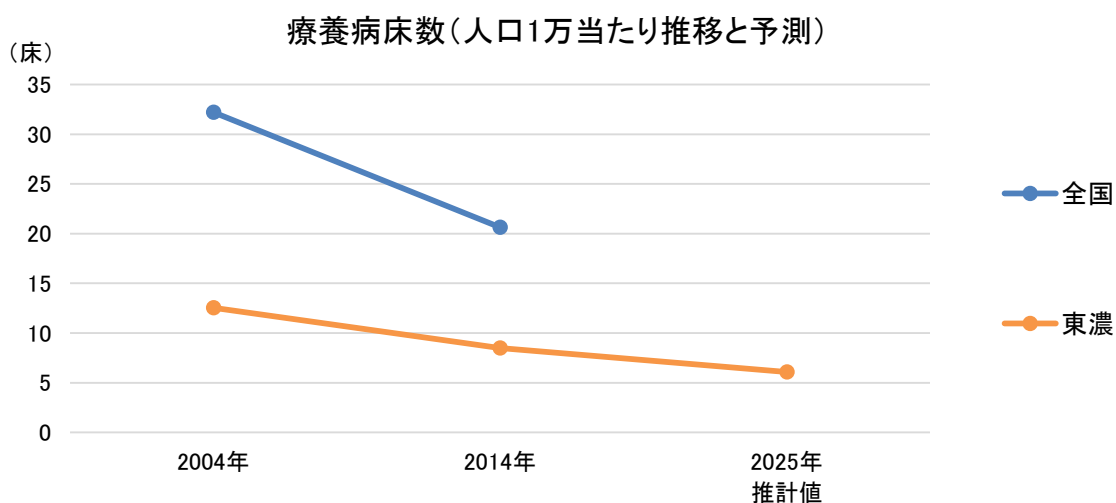
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2337床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2328床(人口1万人当たり69(全国平均79)偏差値47)と、9床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2318床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



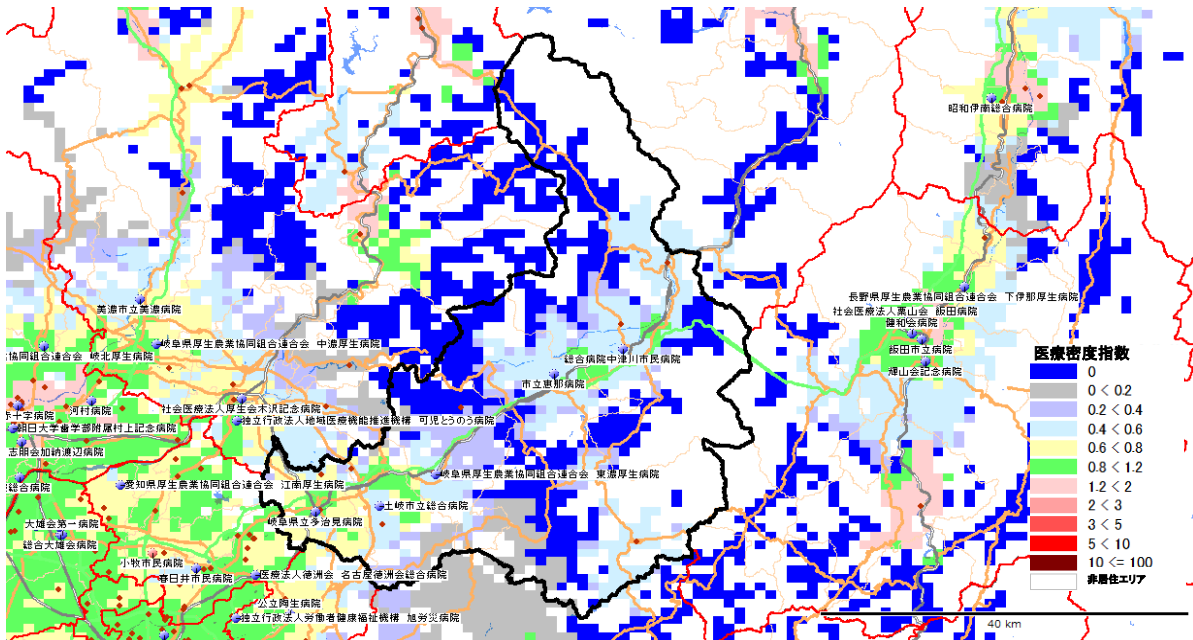
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が482床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に437床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値40)と、45床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には388床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。

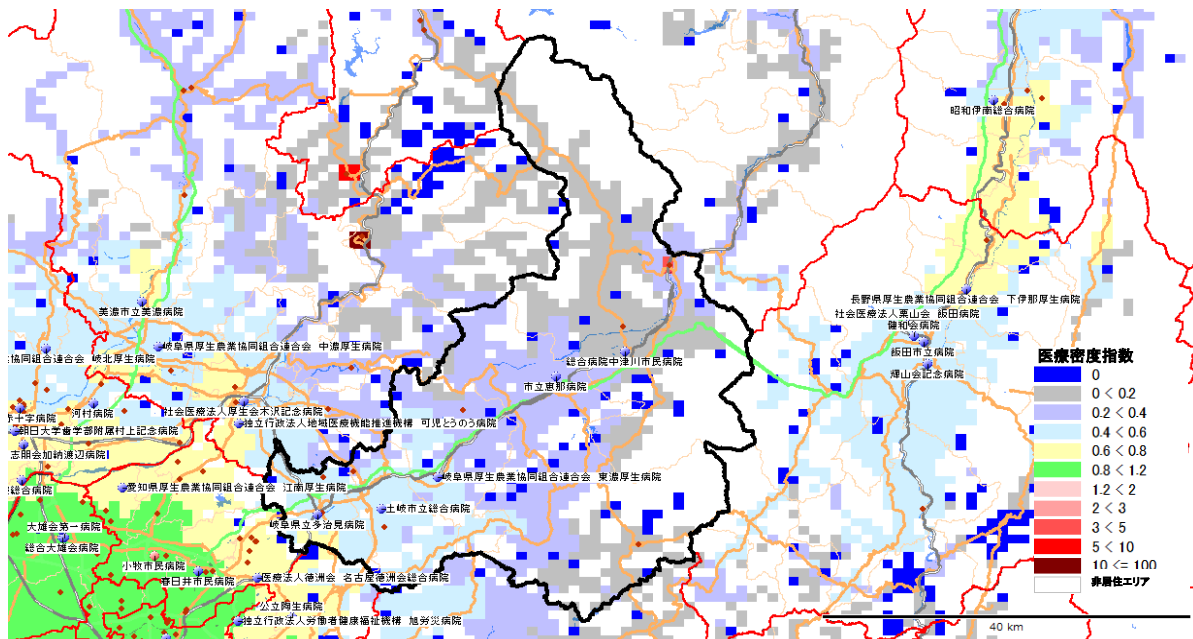


3. 医療密度⁵

図表21-4-1 急性期医療密度指数マップ



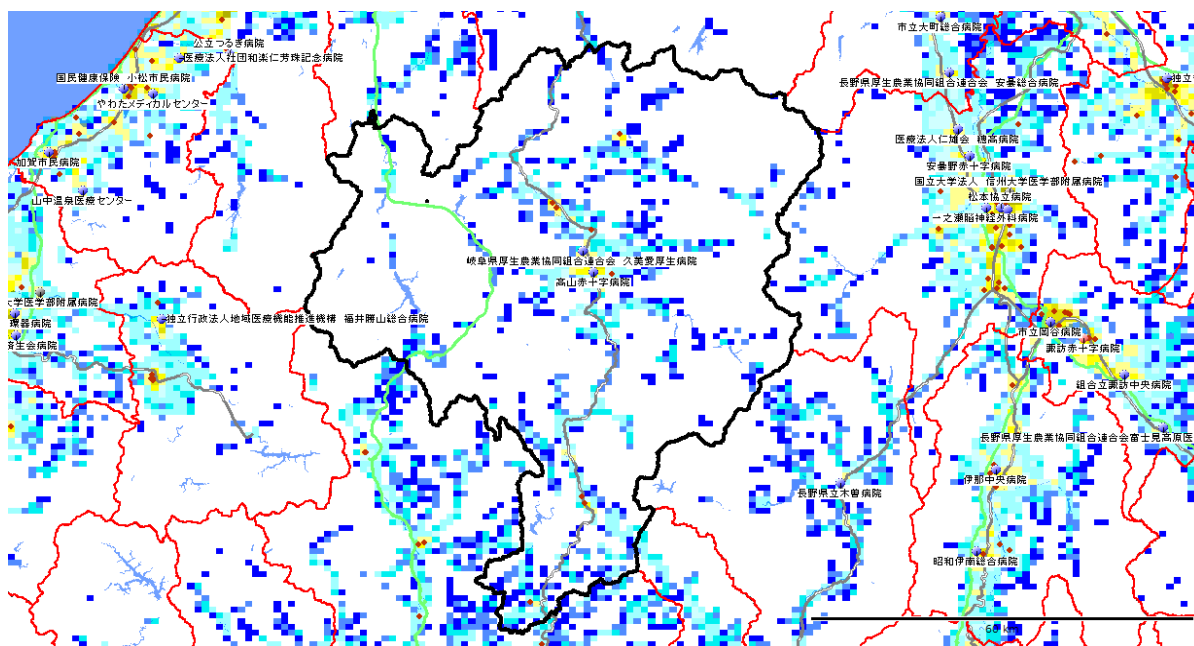
図表21-4-2 慢性期医療密度指数マップ



21-5. ひだ飛騨医療圏

構成市区町村¹⁰ [高山市](#) [飛騨市](#) [下呂市](#) [白川村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(飛騨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 飛騨(高山市)は、総人口約150千人(2015年推計)、面積4178km²、人口密度は36人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 飛騨の総人口は2025年に133千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に108千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 飛騨の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値51)、介護給付費は270千円(偏差値54)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 飛騨の一人当たり急性期医療密度指数²は1、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.49で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。飛騨には、年間全身麻酔件数が500例以上の高山赤十字病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 飛騨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2342人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1698床(偏差値52)、高齢者住宅等が644床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2048人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム38、軽費ホーム52、グループホーム43、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、234人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

飛騨医療圏の総人口は、2005年165610人が、2015年に149726人と10%減少し、2025年の人口が133366人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

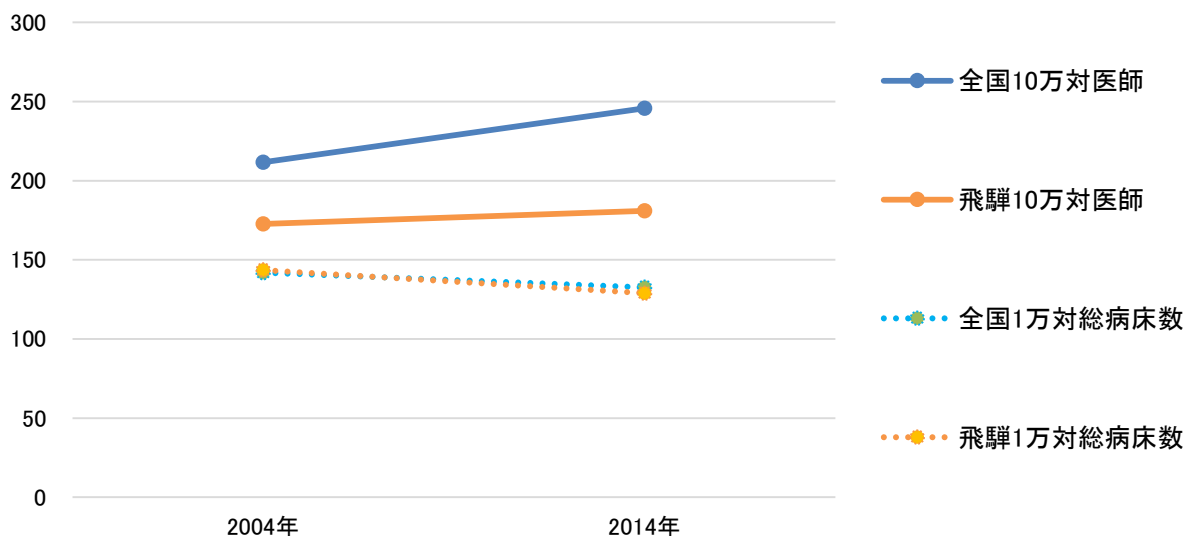
2004年の病院数が12(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に10(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が136(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に135(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2378床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に1930床(人口1万人当たり129(全国平均133)偏差値49)と、448床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

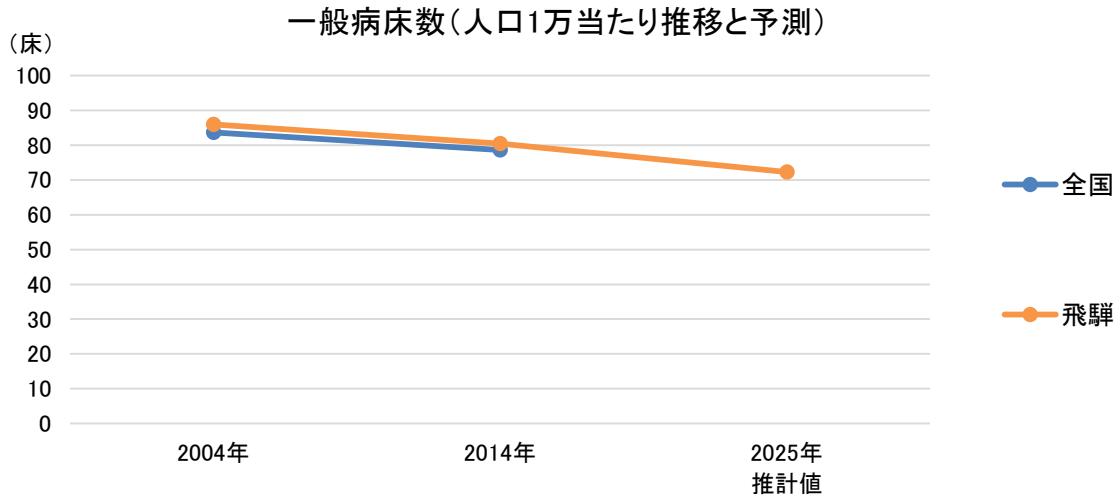
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が286人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に271人(人口10万人当たり181人(全国平均246人)偏差値43)と、15人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



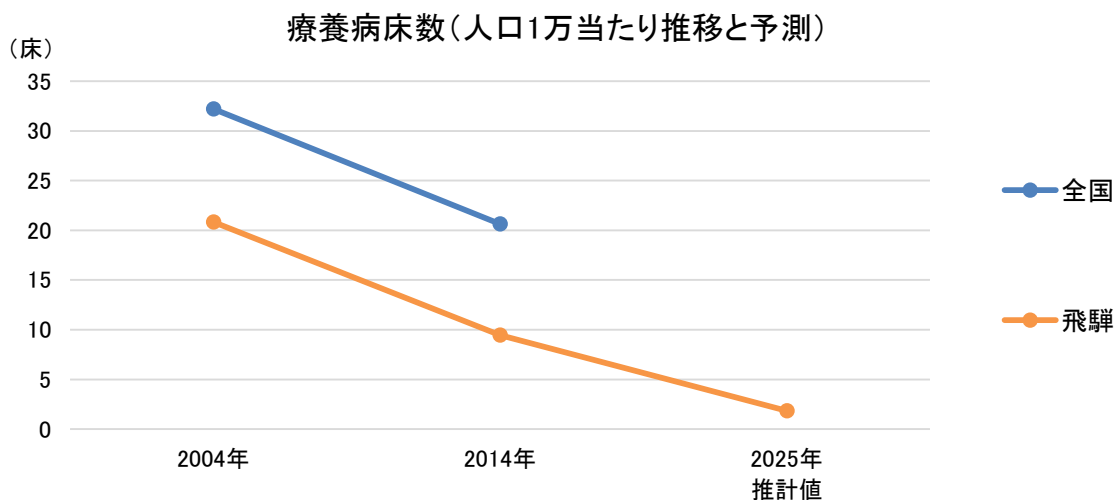
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1424床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に1205床(人口1万人当たり80(全国平均79)偏差値51)と、219床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には964床(2025年の推計人口1万人当たり72)になることが予想される。



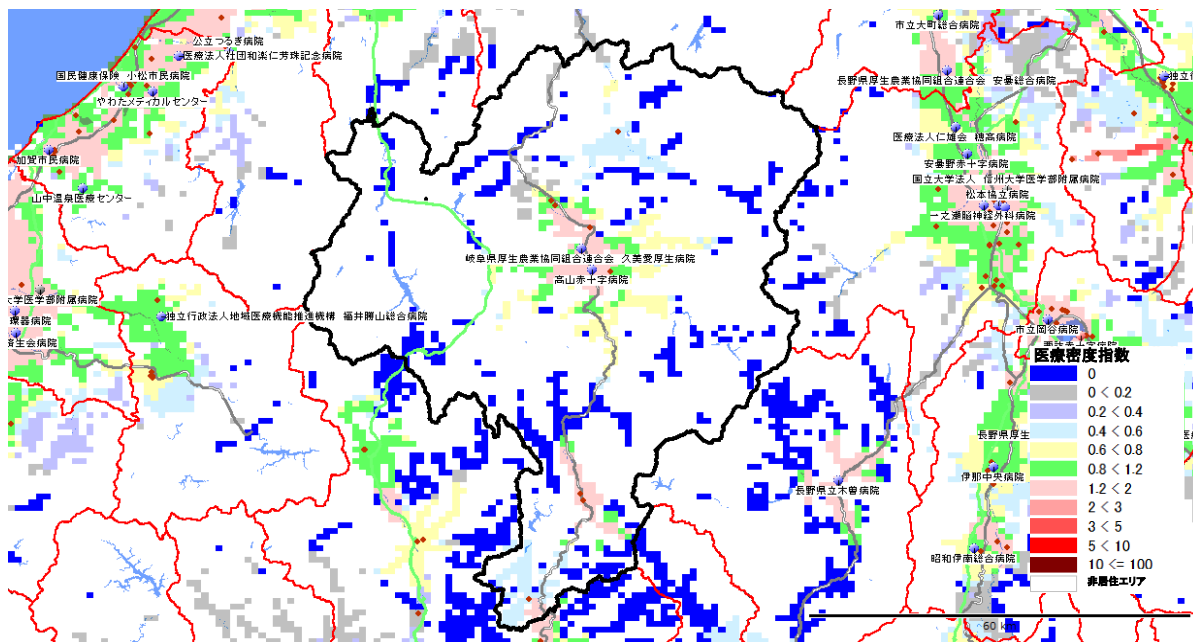
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が442床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に259床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値40)と、183床の減少、率にして41%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には58床(2025年の推計75歳以上1000人当たり2)になることが予想される。

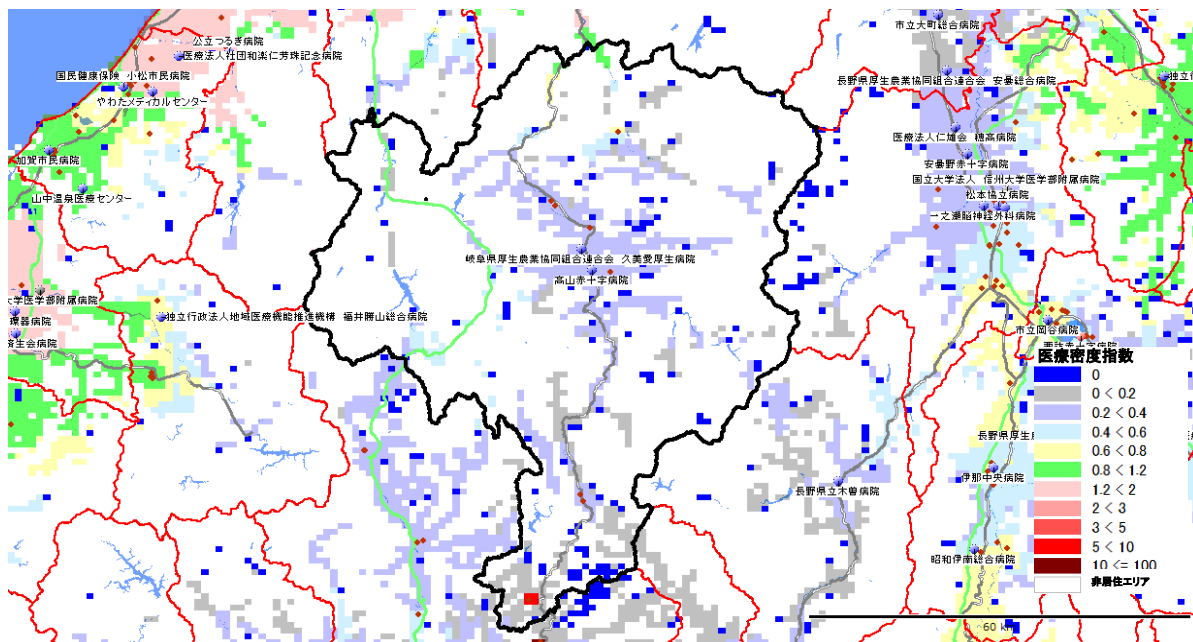


3. 医療密度⁵

図表21-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表21-5-2 慢性期医療密度指数マップ



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。